

「第 20 回東日本事例研究発表大会」 開催概要と発表事例募集のご案内



今年度の東日本事例発表研修会は、第 20 回という節目を迎え、装いも新たに下記の通り開催いたします。発表事例のご準備対応よろしくお願ひいたします。

聴講参加のお申込み等については後日あらためてご案内いたします。

1. 大会概要について

1. 日 時 2020 年 11 月 16 日（月）10:30～17:00 予定（終了後懇親会予定）
2. 会 場 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内）
3. 参加資格：（発表者）全国有料老人ホーム会員のホーム
（聴講者）制限なし・一般消費者も含む
4. 参加費 発表・傍聴ともに無料 ※懇親会参加費：5,000 円/人
5. 発表申込締切 2020 年 7 月 31 日（金）必着
6. 申込方法

別紙「エントリーシート」に、必要事項をご入力の上、事務局宛にMailにて申込み

(1) 目的

- ・有料老人ホームで働く職員が日常のサービス提供で培ったノウハウを事業者・消費者等に共有することにより、入居者の安心・安全を高める有老協会員の価値を社会に訴求する。
- ・他ホームのケアの取組を聞くことで、各ホーム取組の有用性を共有する。

具体的には、ホーム職員の以下の項目のスキルアップを狙う。

- ・情報収集力
先行事例を調べる等、情報収集することにより、外部環境への視野を広げ、ケア方法の幅を広げる。
- ・データ分析力
客観的事実を収集し、データの集計・分析方法を学ぶことにより、根拠を基にケアの PDCA サイクルを回せるようになる。
- ・説明力
プレゼンテーション方法や資料作成方法を学ぶことにより、第三者に対する説明力、日常実施しているケアを可視化する力を高める。

(2) 発表テーマについて

以下 6 点の中から選定

『ケアマネジメント』『自立支援（QOL の向上）』『認知症ケア』『個別ケア』『業務改善』『離職防止』

(3) 発表方法について

1 事例 9 分以内・パワーポイントのスライド投影による発表。

事例発表ごとに、3 分以内で審査員（3 名）により質問・講評（・感謝状授与）を実施。

※会場からの質疑は受け付けない。会場からの質疑については、アンケートにて対応。

(4) その他

- ・当日配布資料に、発表パワポデータも掲載。データレイアウト編集・印刷は外注。
- ・当日発表動画は、前回同様、各ホームの承認後、会員限定でホームページに掲載。

2. 審査・表彰について

(1) 以下の項目について審査

① エントリーシート審査（事前審査）

発表エントリーは1法人1事例とし、エントリー数多数の場合は
実行委員【研修委員に依頼予定】にて審査し、18事例を選定

（エントリーシート審査基準 案）

タイトル	1. 関心を招くタイトルであるか 2. タイトルが内容と合致し、事例の一連のストーリーを的確に表現するものか
内容	3. 問題意識から事例調査の目的、仮説の立て方が妥当か 4. 検証・取り組みの方法が適切であるか 5. 他事例・文献などの情報収集を行い参考になっているか 6. チームでの取り組みが見られるか 7. 結果が客観的事実・データに基づいたものとなっているか
内容の有用性	8. 今後の課題が明確で発展性が感じられるか 9. 他事業所・他業界へも影響を与える可能性がある内容か
独自性	10. 既定の枠にとらわれることなく自由な発想で、問題解決に取り組んでいたか

ただし、取り組み中の事例については、内容を審査から外し、9割満点で審査する

② 当日発表審査

当日講師3名による審査により、最優秀1事例 優秀2事例を選出

（当日審査基準 案）

内容	1. 構成が整っていたか（導入から結論、今後の意気込み、文献記載まで） 2. 検証・取り組みの方法が適切であるか 3. 他事例・文献などの情報収集を行い参考になっているか 4. チームでの取り組みが見られるか 5. 結果が客観的事実・データに基づいたものとなっているか 6. 結果に基づく考察が飛躍していないか結果説明のみで完了していないか 7. 今後の課題が明確で発展性が感じられるか 8. 他ホーム・事業所での展開が可能と思われる内容・手法だった 9. 介護業界以外の方へのアピールとなる内容であった 10. エントリーシートとの整合性はどうか
倫理的配慮	11. スライド、抄録のなかに「倫理的配慮」についての記載・説明があったか 12. 引用文献、参考文献を正しく取り扱っていたか 13. 倫理的配慮、出典の記載がなかった場合は減点対象
プレゼンテーション	14. 身だしなみに問題はないか 15. 話し方、スピード、声量が聞きやすく、かつ説得力があったか 16. 聴衆に目を配っていたか 17. 発表者とスライドの動きが合っていたか
スライド	18. 配色・バランス・文字フォント・図表等が見やすく構成されていたか 19. （過剰かつ不適切なアニメーションは減点対象） 20. 内容を正確に表現できていたか

【前回開催との比較と大まかな流れ】

作業・項目	第 19 回	第 20 回
名 称	第 19 回東日本事例発表研修会	第 20 回東日本事例 研究発表 大会
実施目的	会員ホームにおける運営や介護における様々な取り組み事例を発表、共有していくことで、お客様に提供するサービスのさらなる質の向上につなげる	有料老人ホームで働く職員が日常のサービス提供で培ったノウハウを事業者・消費者等に共有することにより、入居者の安心・安全を高める有老協会の価値を社会に訴求する
会場	一橋講堂（ホール 521 名・会議室 176 名 (+64)）	一橋講堂ホール（521 名）
開催日	11/12（火）	11/16（月）
発表者	協会会員ホーム	（変更なし）
発表テーマ	制限なし	『ケアマネジメント』『自立支援（QOL の向上）』『認知症ケア』『個別ケア』『業務改善』『離職防止』
発表時間	1 事例当たり 1 2 分間 （質疑応答別）	1 事例当たり 1 2 分 （ 発表 9 分 、質疑・講評 3 分）
発表事例	2 5 事例（招待事例含む）	1 8 +招待事例
発表参加費	20,000 円／ホーム	参加費無料
聴講者	協会会員 マスコミ（厚労省投げ込み） 学校関係者（会場近隣の 5 高校へ挨拶実施）	制限なし 一般消費者の聴講を可能とし、協会の価値向上、及び発表ホームへの信頼醸成の一助とする
発表意向確認書	6/3～7/17	廃止
発表内容確認書	7/20～8/20	～7/31 申込みはエントリーシートにて受付、エントリーシートに概要等も記載
発表事例選考	なし	実行委員により 18 事例を選考（8 月中に結果通知）
当日配布用レジュメ作成	10/20	エントリーシートをもとに 9 月中に事務局にて作成 10 月中に発表ホームにて確認
聴講者募集	～10/31	10 月初旬～11/16
当日発表データ作成	～11/4	～10/29
当日配布資料掲載内容	プログラム・レジュメ・広告	プログラム・レジュメ ・ 発表資料 ・広告
当日運営①進行	総合司会・座長（事業者有志）によるプログラム進行	総合司会・ 審査員によるプログラム進行
当日運営②質疑応答	質疑応答はグループごとに 10 分で実施（座長がコントロール）	質疑応答は現場では受け付けない （懇親会・休憩時間等で対応検討） 事例発表ごとに担当審査員により 感謝状授与・講評実施（3 分程度）
審 査	なし	講師の審査により 最優秀 1 ホーム、優秀 2 ホームを選定
実施報告	要旨集の発行 なし 2019. 12. 24 第 19 回東日本事例発表研修会 発表事例のご案内 https://www.yurokyo.or.jp/news_detail.php?c=18&sc=&id=2531	前回開催同様 ・ 発表動画を会員限定で掲載予定